

住友電工グループニュースレター

SEI WORLD

2013
08
Vol.431

住友電工グループの目指すべき姿「Glorious Excellent Company」

Glorious には400年余の歴史をもつ「住友事業精神」や「住友電工グループ経営理念」の具現化を、
Excellent には持続的成長のための事業目標、すなわち住友電工グループの具体的・定量的な
るべき姿を示しています。

Contents

トップメッセージ

2 アメリカ考



特集

3 住友電工の インターフェースケーブル



製品技術

5 次世代超潤滑膜 「ブリリアントコート®」適用の 切削用コーテッドサーメット T1500Z



Latest Information

6 世界初 G-EPON製品が 米CableLabs®から DPoE™ 1.0 認証を取得



今月のグループ会社紹介

9 タイ王国 SEST社 Sumitomo Electric Sintered Components (T) Co.,Ltd.



Top Message

住友電気工業株式会社 社長 松本 正義

アメリカ考

先日、駆け足でしたが、米国に出張しました。当社グループは、メキシコを含め北米に37社の関係会社があります。年1回各社の責任者が一堂に会し、経営の諸問題を報告し、自由討議を通じてお互いに意見、アドバイスを交換する「北米主管者会議」に出席するとともに、現地のグループ会社を視察してきました。

アメリカの今の状況や雰囲気などを、肌で感じることも目的の一つで、各社の力強い報告を聞きますと、本格的とは言えないまでも北米景気が上向いていることが確認できました。

アメリカの社会経済について、改めて考えてみると、財政問題や格差問題は未だ払拭されず、また、保護主義の台頭、モンロー主義への回帰も不安視されます。一方で、シェール革命によりエネルギー問題の解決

に目処がつき、人口は増加基調にあり、実質賃金も安定しています。また、産業分野に限らない活発なイノベーション活動、ダイバー

シティに柔軟な社会、そして日本と同質の政治社会体制であることは、ご承知のとおりかと思います。

これらに加え、「自由と責任」、「公平性と開放性」、「透明性」、「柔軟性」、「スピード感」、「競争」が、アメリカでのビジネス理念です。まだ戦争の記憶が鮮明に残る1970年代、ある日本の若者が“Knock on the door.”の営業活動で工場を訪ね、自社の製品を現場で懸命にテストをしました。当時、まだ

安からう悪からうの風評が強く残る

日本製品を、テスト結果という事実に基づいて公平、正直に評価し、“Great!”の一言でビジネスが成立したこと。アメリカのビジネス倫理には、このDNAが今も脈々と流れていると、この若者は今も信じていることがあります。

ちょうど本稿を書いている時に、デトロイト市破綻のニュースが飛び込んできました。“Everything is all right.”ではありませんが、私たち産業界は、市場やビジネスの場としてのアメリカの重要性を再認識する必要があると思います。



住友電工のインターフェースケーブル

当社は、Mac及びPCと周辺機器を接続する高速伝送規格Thunderboltケーブルや、スマートフォンとテレビなどをつないで大画面で映像・音声を楽しむことができる細径MHLケーブルなど、さまざまなインターフェースケーブルを開発、販売しています。



Thunderbolt ケーブルを総復習

■Thunderboltとは？

Thunderboltは、インテル コーポレーションとApple Inc.が共同開発した高速伝送規格で、Mac及びPCと周辺機器の環境を劇的に変化させる最先端のインターフェイスです。

当社は、インテル コーポレーションからThunderboltテクノロジーの技術仕様の開示を受け、10Gbpsの高速伝送を実現するThunderboltケーブルを開発、2012年4月より販売しております。また、ラインナップも徐々に拡充し、30mまでの長距離伝送のニーズを実現する光ケーブルは2012年12月より、現行品より断面積比では約42%の細径化を実現したケーブルは2013年6月より販売しています。



[Thunderboltケーブル 各種ラインナップと仕様]

世界初!!

伝送媒体	メタル		光
	通常径	細径	
チャンネル数	2		
チャンネル当たりの伝送速度	10Gbps		
伝送容量	20Gbps		
ケーブル外径	4.2mm	3.2mm	4.2mm
製品長	0.3m、0.5m、1.0m 1.5m、2.0m、3.0m	0.3m、0.5m 1.0m、2.0m	10m、20m、30m
製品色	黒色・白色		黒色
コネクタ寸法			
バスパワー給電	あり (10W)		なし
その他	PC本体+最大6台のデイジーチェーン		

[Thunderboltケーブルと主なインターフェースとの比較]

規格	Thunderbolt	USB2.0	USB3.0
伝送速度	双方向10Gb/s	双方向480Mb/s	双方向5Gb/s
ケーブル長	メタル：最大3m 光：最大30m	最大5m	最大3m
特長	<ul style="list-style-type: none">データ伝送用、映像伝送用の2つのプロトコルに対応可能デイジーチェーン接続可能最大供給電力10W	<ul style="list-style-type: none">データ伝送用ツリー接続最大供給電力2.5W	<ul style="list-style-type: none">データ伝送用ツリー接続最大供給電力4.5W

Topics

当社のThunderboltケーブルは、当社が直接出品しているAmazon.co.jpでお買い求めいただけます。使用環境に合わせて長さを選べるラインナップの多さ、非常に柔軟でしなやかなため、取り回しやすさでご好評を頂いています。

住友電工 Thunderboltケーブル <http://www.amazon.co.jp/gp/product/B007SJ3HT2>

Thunderbolt ケーブルの特長

双向向10Gbpsの超高速伝送

規格上の転送速度は インプット/アウトプットそれぞれ最大10Gbps。従来規格のUSB2.0 (480Mbps) の約20倍、USB3.0 (5Gbps) の約2倍の高速転送技術です。当社のThunderboltケーブルは、大容量データの転送時間の大幅な短縮など、作業の効率化を実現します。

10Wのバスパワー供給

Thunderboltは、データ転送技術であるPCI Expressと、映像出力技術であるDisplayportという2つの基礎的な技術に対応しています。Mini DisplayPortの小さなコネクタで、データ転送、モニター出力、電力供給をすべて同時にこなしてくれます。

PC本体+最大6台のデイジーチェーン

Thunderboltは周辺機器のデイジーチェーン(数珠つなぎ)に対応しています。複数の周辺機器を利用する時、ケーブルのとり回しがとてもシンプルになるメリットがあります。周辺機器を増やしても、複雑なポートの分岐等を行う必要はありません。パソコン一台に対してディスプレイ、HDDといった周辺機器をデイジーチェーンで最大6台まで接続することができます。

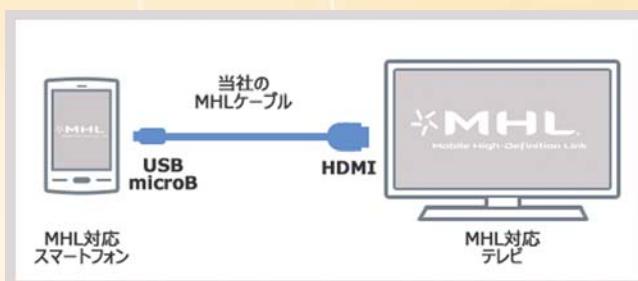
細径 MHL ケーブルを総復習

■細径MHLケーブルの概要

MHL^{*}とは、それに対応したスマートフォンとTVや音響機器などを接続して、映像・音声を楽しむことができる高速インターフェースです。最高画質1080p/60fps、8チャネルサラウンドの優れた音質を実現するとともに、テレビなどの機器から電力供給を受けられるための映像などを再生しながらスマートフォンを充電することができます。

当社のMHLケーブルは独自の設計技術を活かし、従来品より1.0mm程度の細径化を実現、外径は3.1mmと細く、柔軟性に優れたしなやかなケーブルで、非常に使い勝手の良い製品です。

*MHLとは、Mobile High-definition Linkの略。



Topics

当社は、Amazon.co.jpで、7月23日より細径MHLケーブルの販売を開始しました。ぜひお買い求めください。

住友電工 細径MHLケーブル

<http://www.amazon.co.jp/gp/product/B00DUM0KX2>

【住友電工 細径MHLケーブルの仕様】

仕様	MHL 1
ケーブル部外径	3.1mm
製品長	1.2m
コネクタ形状	USB micro B (スマートフォン側) HDMI type A (TV・音響・車載機器他側)
MHL規格の特徴	<ul style="list-style-type: none">・伝送可能画質：最高1080p/60fps・伝送可能音質：8チャネル デジタル オーディオ・充電可能電流：最低500mA・TV/AVアンプリモコンで携帯端末の操作が可能



SEI 子さんと学ぶ

もっと知りたい あの製品技術

私と一緒に
学びましょう!

今月の注目製品

次世代超潤滑膜「ブリリアントコート®」適用の 切削用コーテッドサーメット

T1500Z

当社は、業界初の次世代超潤滑膜「ブリリアントコート®」を被覆することで、
鋼切削の仕上げ加工において美しい仕上げ面が得られるコーテッドサーメットの
新汎用材種「T1500Z」を開発、本年2月より販売を開始しました。

製品データ

発売開始時期

2013年 2月

WEBサイトURL

[http://www.sumitool.com/
products/cutting/
grades/t1500z.html](http://www.sumitool.com/products/cutting/grades/t1500z.html)

次世代超潤滑膜「ブリリアントコート®」適用の 切削用コーテッドサーメット「T1500Z」って なに?

サーメットとは、チタン化合物が主成分の硬質合金で、鉄との親和性が低いという特性があります。このため、切削工具に適用して鉄系金属を加工すると、光沢のある美しい仕上げ面が得られます。また、切削工具に多く用いられる超硬合金に比べ、希少資源であるタングステンの使用量が少ないという利点もあります。

このたび当社が開発した次世代超潤滑膜「ブリリアントコート®」は、非常に優れた潤滑特性を有しており、鉄系金属との反応をより大幅に低減させます。このため、サーメット製切削工具に被覆すると、被削材の溶着をさらに大きく抑制し、“むしれ”を防止するので、光沢感が高く、面粗度の安定した、より美しい仕上げ面が得られます。また、「ブリリアントコート®」は耐摩耗性も非常に高く、切削工具としての寿命を従来品比で約1.5倍以上に向上させ、工具の長寿命化も達成します。



▲コーテッドサーメット[T1500Z]

どんなところで使われているの? 自動車や産業機械等の鋼部品の仕上げ切削加工に用いられています。

技術者に
聞きました



住友電工ハードメタル
合金開発部
合金開発グループ
小池 さち子

次世代超潤滑膜「ブリリアントコート®」を 開発する上で難しかったことはなんですか?

サーメット工具は幅広い加工で使用されるため、お客様のニーズも多岐にわたります。特に、優れた工具寿命と加工面品質が強く求められますが、それぞれに必要な膜特性が異なるためこれらを両立することは難しい課題でした。そこで新しいコーティング技術を導入し、従来にない超潤滑膜を開発しました。「ブリリアントコート®」は従来プロセスでは製造できず、当社になかった新規プロセスを立ち上げたため、設備改造を含め条件出しから安定した量産条件の確立まで時間がかかりましたが、ようやく製品化することができました。

当社製品のどういった点がお客様に 喜ばれていますか?

新開発の「ブリリアントコート®」サーメットは、加工初期から安定して優れた加工面品質が得られると好評を頂いています。特に、従来のコーテッドサーメットでは適用できなかった加工面品質要求が厳しい用途においても使用できる点が評価されています。また工具寿命の面でも優れているため、加工コストも削減できると喜ばれています。

製品・技術

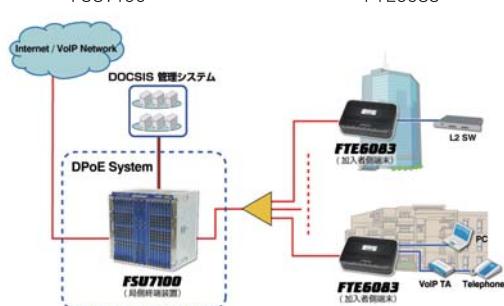
ネットワークシステム事業部、住友電工ネットワークス株

世界初 G-EPON製品が米CableLabs®からDPoE™ 1.0 認証を取得

当社は、光ブロードバンドアクセスを支えるG-EPON^{※1}製品において、米国のケーブルテレビ技術標準化団体であるCable Television Laboratories, Inc.(以下、CableLabs)より5月30日付で、世界で初めて、DPoE^{※2}(DOCSIS[®]^{※3} Provisioning of EPON)1.0規格のデバイス認証を取得しました。なお、今回認証された企業では、当社が唯一の日本企業となります。

このたび認証を受けたG-EPONの製品は、「FSU7100」(光回線の局側終端装置となるDPoE System)と「FTE6083」(加入者側端末のDPoE ONU)です。

当社グループは、住友電工ネットワークス株においてG-EPON製品を製造し、日本やアジア各国の通信キャリアを中心に豊富な納入実績を有しますが、今回の認証取得により北米および世界のCATV事業者へのG-EPON製品の拡販を推進していきます。



※1 G-EPON: Gigabit - Ethernet - Passive Optical Network
1Gbpsの伝送速度を有する光加入者ネットワーク。局側装置(Optical Line Terminal, OLT)と宅側端末(Optical Network Unit, ONU)から構成される。

※2 DPoE: DOCSIS Provisioning of EPON
CableLabsが策定する、DOCSISとEPONの統合ネットワーク規格。

※3 DOCSIS: Data Over Cable Service Interface Specifications
CableLabsが策定する、ケーブルテレビ回線を利用して高速なデータ通信を行うための規格。

・CableLabs, DOCSIS, DPoE は、米国 Cable Television Laboratories, Inc. の米国及びその他の国における商標または登録商標です。
・Ethernet は、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

お知らせ

研究統轄部、新領域技術研究所、新規事業マーケティング部

当社と和歌山県立医科大学が包括的連携協定を締結

当社と公立大学法人和歌山県立医科大学(以下「和医大」)は、産学連携によるイノベーションの推進を通じた先進的な医療機器の創出等の実現により、両者の発展並びに国民福祉の向上に貢献することを目的とした、包括的連携協定を結ぶことに合意し、7月10日に協定書に調印しました。

この連携においては、当社が保有するモビリティ、エネルギー、コミュニケーション分野を中心につながり、これまで培ってきた技術シーズと、先進的医学研究に基づき高度医療を実践する和医大が有する多様な医療分野のニーズなどをマッチングさせることで、先進的な医療機器の創出等を実現し、日本の医療機器産業の発展や国民福祉の向上に貢献していきます。



和歌山県立医科大学理事長
板倉 徹氏(左)、当社専務
取締役 田中 茂(右)

展示会

展示会URL <http://www2.convention.co.jp/icavs7/>

新規事業マーケティング部

「先端振動分光学国際会議」に出展

8月26日(月)から30日(金)の5日間、国内外から振動分光学の専門家、科学者、企業が一堂に会する国際会議「先端振動分光学国際会議」が神戸国際会議場で開催されます。

当社は、近赤外光を用いて薬剤や食品の組成の違いを検知し、リアルタイムに画像化する組成イメージングシステム「Compovision[®] (コンポビジョン)」を併設される展示会に出展します。

当社ブースへのご来場
を心よりお待ちしております。



組織イメージングシステム
Compovision[®] (コンポビジョン)

会 場 神戸国際会議場4F 401+402会議室

ブース番号 30

出展製品 組成イメージングシステム「Compovision[®]」

受賞

自動車事業本部

「Volkswagen Group Award 2013」を受賞

去る6月20日に、ドイツの自動車メーカー・フォルクスワーゲン社が世界中の優秀なサプライヤーを表彰する「Volkswagen Group Award 2013」がドイツのドレスデンで開催され、当社が最高位「Global Champions」8社中の1社に選ばれました。

本表彰式には、世界から約150社のサプライヤーが招待され、3つのカテゴリーで表彰を受けた20社のうち、当社は唯一のアジア系企業でした。2008年、2010年にも受賞しておりますが、最高位の受賞は今回が初となります。これからもお客様の期待に応えられるよう、住友電工グループ全体の連携を強化していきます。



VWグループの
ヴァンターコーン社長(右)、
当社社長松本正義(中)、
ガルシア購買担当副社長(左)

お知らせ

システム事業部

(一財)日本デジタル道路地図協会より感謝状を受領

当社は、(一財)日本デジタル道路地図協会の立上げ、データベースの検討、高度道路交通システム(ITS)に使用する地図データベースの標準化の議論など、1988年の設立当初よりも対応してきました。また、日本デジタル道路地図を、車両の運行管理システムやプローブシステム等のITSに関連する様々なシステムや地理情報システムに利用・販売し、デジタル道路地図市場の発展・拡大に貢献してきました。今回、(一財)日本デジタル道路地図協会より、デジタル道路地図への貢献に対する感謝状を受領しました。

今後も、デジタル道路地図の発展、利用者利便性の向上等に貢献できるよう、全力で取り組んでいきます。



お知らせ

自動車事業本部、住友電装株

ロシアに自動車用ワイヤーハーネスの製造・販売会社を設立

近年成長著しいロシア自動車市場の需要を捕捉するべく、当社と住友電装株は、グローバルサプライヤーとの連携を模索していた通信機器・電線メーカーのOAO Zavod Radioapparatury社(本社:ロシア・スベルドロフスク州・以下「ZRA社」と)との合弁事業により、ロシアに製造・販売拠点を設立することを決定しました。

なお、合弁形態は、英国のワイヤーハーネス事業統括子会社 Sumitomo Electric Wiring Systems(Europe) Limited(以下「SEWS-E」)が51%、ZRA社が49%を出資し持株会社を設立し、その完全子会社としてロシアに製造・販売会社を設立する予定です。これまでグローバルに培ってきた生産・品質等のノウハウを活用し、伸長するロシアでの需要を積極的に捕捉していきます。



お知らせ

ThunderboltケーブルWebサイト

<http://www.sei.co.jp/ewp/J/thunderbolt/>

電子ワイヤー営業部、電子ワイヤー事業部

細径ThunderboltケーブルをオンラインストアのAmazonで販売開始

当社は、7月3日からAmazon.co.jpで細径Thunderboltケーブルの販売を開始しました。

本製品は、インテルコーポレーションからThunderboltテクノロジーの技術仕様の開示を受け、2013年5月に世界で初めてインテルの認証を取得し、量産を開始したもので、ラインアップは、使用環境に合わせて選べる4種類のケーブル長(0.3m、0.5m、1.0m、2.0m)で、白と黒のバリエーションを揃えました。



・Thunderbolt、Thunderbolt ロゴは、米国 Intel Corporation の米国及びその他の国における商標または登録商標です。
・Amazon は、米国 Amazon.com, Inc. またはその関連会社の米国及びその他の国における商標または登録商標です。

お知らせ

新規事業開発体制の整備について

当社では、新規テーマの事業化加速に向けて、6月26日付で次の組織改正を行いました。

5月に発表しました新中期経営計画「17VISION」の実現に向けて、グループ内の連携を強化し、総合力を発揮するとともに、迅速・大胆な経営判断を行い、機動的な組織運営が可能となるように実施したもの

です。

①「新規事業開発本部」、「新規事業マーケティング部」の設立

新規事業開発本部は、当社の新中期経営計画「17VISION」において「融合領域」「新規領域」に位置づけた「SiCパワーデバイス」、「マグネシウム合金」、「水処理」の3つの事業を、研究開発部門、既存事業部門から移管し、スタートしました。今後、これら以外のテーマについても、研究開発の進捗状況や事業化に向けたステージを

見極めながら、順次移管を進める予定です。

また、新規事業マーケティング部は、社会のさまざまなニーズをタイムリーに捉えて、マーケットサイドから新規事業開発本部や研究開発部門と共に新しいビジネスを推進する役割を果たします。

② 研究開発部門の組織再編

モビリティ、エネルギー、コミュニケーションといった事業領域への展開をめざして、当社グループ内のさまざまな技術リソースを結びつけて新しい可能性を追求する3つの「研究開発センター」と、当社グループがこれまで培ってきたコア技術を一層深め、既存技術・事業にイノベーション(技術革新)をもたらすことを狙いとした7つの「コア研究所」とに再編成しました。

お知らせ

北京五輪 陸上男子5000m、10000m競走 日本代表 竹澤健介選手が入社

7月1日付で、当社に2008年の北京五輪 陸上男子5000m、10000m競走の日本代表である竹澤健介選手が入社しました。竹澤選手は、当社陸上競技部に入部し、競技を続けていきます。

～住友電工 陸上競技部について～

当社伊丹製作所(兵庫県伊丹市)に本拠を置く住友電工 陸上競技部は、1928年に発足し、現在は約20名の部員が国際大会で活躍できる日本代表選手を目指して、日々練習を重ねています。また、中学生を対象とした陸上教室の開催などを通じて、スポーツの振興、地域社会とのコミュニケーションにも取り組んでいます。



自己記録
5000m:13分19秒00
10000m:27分45秒59

竹澤健介選手のコメント

このたびはご縁があり、住友電工で新たな出発の機会を頂きました。これまで多くの皆様のお支えと激励を頂き、今日の自分があることに、この場をお借りし、心から感謝申し上げます。五輪をはじめ、国際競技会へ向けて一所懸命に頑張りたいという気持ちはこれまでと変わりませんが、アスリートとしてのみならず、一人の人間としても、社会に貢献できるよう、より一層精進してまいります。引き続きご支援ご声援のほど、宜しくお願ひ申し上げます。

お知らせ

人事総務部

東京本社において東日本大震災被災地支援「東北物産展」を開催

当社は、6月20日(木)、21日(金)の両日、当社東京本社において、東日本大震災被災地支援「東北物産展」を開催しました。

今回2回目となる東京本社での物産展では、当社グループ会社の社員を対象に、岩手県・福島県・宮城県産のお菓子、麺類、ジュース、日本酒などを販売し、全ての商品が完売となりました。

当社グループでは、少しでも復興のお役に立てるよう、今後もこうした取り組みを継続していきます。



今月の グループ 会社紹介

グローバルグループ vol.17

SEST

Sumitomo Electric Sintered Components(T)Co., Ltd.

拡大する東南アジアの自動車産業の中核企業に発展、
期待が膨らむタイSESTからのレポートです。

私が紹介します



営業部 シニアマネージャー
小林 英夫



会社概要



名 称：Sumitomo Electric Sintered Components(T)Co., Ltd.
設立年月：1996年11月
事業内容：焼結部品の製造、販売
代表者：柚木 徳道
従業員数：655名
日本人駐在員数：9名



住友電工
との
つながりは

現在、東南アジアには住友電工グループ 焼結部門の関係会社が3社(タイ、マレーシア、インドネシア)あり、Sumitomo Electric Sintered Components(Thailand)Co., Ltd.(略称SEST)は、世界10位の生産台数を誇るタイ自動車産業の拡大にともない、東南アジアの中核となりつつあります。また今後、需要の拡大が予想されるほかの東南アジア諸国、インドなどの南アジア向けの製造拠点としても期待されています。

こんな
仕事を
しています

事業計画から生産管理、 そのほか初めて経験する各種業務にも日々勉強

SESTは1996年に設立され、今年で17年目を迎えます。立ち上げ当初のアジア通貨危機、2008年のリーマンショック、そして2011年のタイ洪水などの、さまざまな苦難を乗り越えて売り上げの拡大を続け、現在は従業員600人以上と、海外の焼結部門で最も大きい工場の一つに成長しました。

私は2011年10月に赴任し、営業のマネージャーおよび総務のコーディネーターをしています。おもな業務は事業計画の立案、月次の損益管理などに加え、営業関係ではアセアン戦略車案件の受注活動に注力しています。総務関係では、賃金交渉など初めて経験する業務が多く、日々勉強しながら進めています。

今後は2014年以降の技術的難易度の高い新製品群の立ち

上げを控え、ローカルスタッフの教育、仕組み整備などを一層進め、会社基盤の強化に努めています。



SEST のスタッフ

現地スタッフの紹介



Natthapat (ナタッパット)

こんにちは。私はSEST生産技術で働いているナタッパットです。加工関係の業務を3年間しており、私の使命は効率の良い条件を追及し、標準化することです。SESTは新規案件が多く、新技術にも積極的にトライしているため、とてもやりがいがあります。私は日本語が得意なので、日本人とよく冗談を話し、リフレッシュしています。これからもコミュニケーションを大切にし、成長していきたいと思っています。



Areeya (アリーヤ)

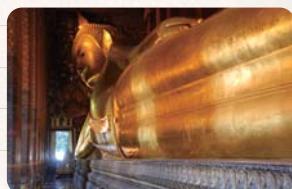
私はSESTの営業で2002年から働いています。私は自動車や家電メーカー担当で、新規案件の見積作成や納期対応がおもな業務です。入社後はとても多くのことを学ぶことができ、大変意義のある10年間でした。職場はチームワークがとてもよく、大家族のような安心感があり、居心地よく感じています。SESTが今後さらに発展できるよう新規拡販、業務の改善に注力していくと思っています。

現地レビュー

信仰と微笑みの国 タイ

信仰深い仏教文化

タイは「上座部仏教」で、その信仰はとても深いです。たとえばタクシーの中に仏様に供える花がぶら下がっていたり、仏様のネックレスをしていたり、タンブンとよばれるお布施もよく見かけたりします。寺院は至るところにあり、観光としてはタイマッサージの聖地できらびやかな“ワット・ポー”や、町全体に王朝時代の名残が残る“アユタヤ歴史地区”が有名です。



ワット・ポー



微笑みの国

微笑みの国

タイは“微笑みの国”とよばれ、その国民性はとても社交的でおおらかのが特徴です。街ですれ違えば、誰もが笑顔で応えてくれて、子どもを見かけするとあやしてくれます。子どもと一緒に電車に乗ると、必ず席を替わってくれます。

意外と知らない世界自然遺産

バンコクから北北東に約200km、85%が森林に覆われた世界自然遺産のカオヤイ国立公園があります。タイ最古の国立公園でもあり、公園には、2,000を超える植物、350を超える鳥類などが生息しています。約40kmのハイキング道があり、トレッキングも楽しむことができます。



カオヤイ国立公園



バンコク市内風景



アユタヤの象乗り



映画“ザ・ビーチ”的舞台になったビビ島(プーケット)



観光名所の水上マーケット

Ingenious Dynamics

住友電工グループは、卓越した知見と独創性を持ち、
そのダイナミクスによって最大効果を創出し、社会の期待に応えていきます。

Ingenious は、それぞれが備え持つ卓越した能力と独創性、そして顧客志向の機動力を、
Dynamics は、原動力（住友の精神）、力学（多角化事業・技術によるグループ全体の総合力）、
変革のエネルギー（進取、気鋭）を表しています。また同時に、頭文字の「ID」は、
グローバルに「住友電工のアイデンティティ」（独自の個性）を積極的に発揮していく姿勢と、
「Infrastructure Development」（社会インフラの発展）に貢献し続ける意志を示しています。



<http://www.sei.co.jp/> (バックナンバーも掲載しています)

本 社(大阪) 〒541-0041 大阪市中央区北浜4-5-33 Tel. 06-6220-4119 Fax. 06-6220-6485
本 社(東京) 〒107-8468 東京都港区元赤坂1-3-13 Tel. 03-6406-2600 Fax. 03-6406-2700
中 部 支 社 〒461-0005 名古屋市東区東桜1-1-6 Tel. 052-963-2700 Fax. 052-963-2818
九 州 支 店 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-2-8 Tel. 092-441-1791 Fax. 092-473-7084
中 国 支 店 〒730-0031 広島市中区紙屋町1-3-2 Tel. 082-248-1791 Fax. 082-249-3483
東 北 支 店 〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-27 Tel. 022-262-7540 Fax. 022-262-7538
北 海 道 支 店 〒060-0042 札幌市中央区大通西8-2 Tel. 011-241-1375 Fax. 011-281-4113
沖 縄 支 店 〒900-0015 那覇市久茂地3-21-1 Tel. 098-866-3213 Fax. 098-866-0277
豊 田 事 業 所 〒471-0855 豊田市柿本町2-4-1 Tel. 0565-26-4105 Fax. 0565-26-4158

住友電工グループニュースレター 第431号 2013年8月発行 編集発行人／野田太郎

